



U.S. Customs and
Border Protection

米国税関国境取締局広報部

2011年3月20日

ファクトシート

放射線検査手順

税関国境取締局（CBP）は放射線リスクに対処するため、米国に入国する旅行者と貨物において確認された安全保障上のリスクを検知しそれに対処するため、入国地において数種類の放射線検知機器を設置しています。

もし放射線が検知された場合には、CBPは手順に沿ってその旅行者あるいは貨物を隔離し、放射線のレベルと種類を判断するための綿密な検査を実施します。

CBPの科学関連審査官は365日24時間体制で勤務しており、放射線検知装置で収集されたデータ分析と放射線リスクを評価するための専門知識を備えています。

航空機の搭乗者と乗務員

空港ではCBPの現場職員が携帯式放射線検知機器を常備し、全ての空港では検知された放射線の種類を判定するための更に高感度の手持ち式の検知機器を装備しています。

携帯式放射線機器からの放射線警報の線源を特定するために、CBP審査官は手持ち式放射線同位体判定機器で線源を隔離し放射線のレベルと種類を判定します。

CBPは放射線関連の病気の兆候を示した旅行者の健康に注意を払いながら、その旅行者に米国保健福祉省（HHS）と米国疾病管理センター（CDC）に検査に行くよう勧めます。また、米国市民以外の旅行者の入国許可に関しては旅行者の健康問題が解決されるまで保留されます。

航空手荷物と一般貨物

CBPは搭乗者の手荷物と一般貨物の放射線の有無を精査します。もし放射線が検知された場合は、CBPは手順に従いその荷物を隔離した後、追加的検査を実施し放射線のレベルと種類を判定します。貨物に関しては低い放射線レベルで、問題が機器から検知されなければリリースされます。

手荷物に関しては、たとえ低いレベルの放射線であっても、空港ターミナルでの二次汚染を防ぐため保留されます。CBPは状況に応じて現地の手順に従い、航空会社や現地事務所と協力

し、荷物のリリース時の判定、あるいは汚染除去が完全になされたかを確認します。

もし、高い放射線レベルが確認された場合、手荷物あるいは貨物は現地の手順に従い除去作業を実施するために保留されます。

速達貨物（UPS／FedEx）

2005年以降、FedExとUPSはCBPとの覚書に従い外国から米国への全貨物を出発前に精査する事に同意しました。

FedExとUPSは確立された手順に従い放射線検知機器からの警報に対処する責任があります。これらの会社は放射線汚染が確認された荷物輸送に対し断固とした措置を取っています。汚染された荷物は荷主に返送されます。

海上コンテナ貨物

海路で米国に到着するコンテナ貨物は大型放射線検知機器を使用し、到着港にて上昇した放射線レベルが検査されます。

もし放射線が検知された場合は、CBPは手順に沿ってその荷物を隔離し追加的検査を実施し放射線のレベルと種類を判定します。

多くの場合、検知された放射線は多くの物質に自然に含まれる物です。（例：肥料、セラミック、コンクリート）

特別措置—食品

食品医薬品局（FDA）は米国に輸入される食品の安全を管理する主要機関です。同時に米国農務省食品安全検査局（USDA／FSIS）も肉類、卵、その他の製品管理に対し重要な役割を担っています。CBPは食品輸送に関する適切な対応と指導についてFDAとUSDA／FSISと協力しています。

食品を含む貨物輸送にはその他の貨物輸送に適用されるものと同様の放射線検知精査手順が実施されます。